



つづく つながる 夢を育てる学び舎
国立二小だより

令和5年(2023年)8月29日

国立市立国立第二小学校

校長 内田 辰彦

夏休みの学校

校長 内田 辰彦

夏休みが始まったばかりの7月24日から26日までの3日間に今年の「二松クラブ」が実施されました。「二松クラブ」は育成会を中心とした地域の方と学校の連携事業で、子供たちのためのサマースクールのようなものです。平成15年に始まり、毎年行われています。今年は、コーラス、武術の秘伝、シアターゲーム、宝箱作り、マジック教室、折り紙教室、モビール作り、ダンス教室、ハワイアンリボン・ミサンガ作り、ケン玉講座、桜染めと木工教室、くにたちカルタ、お料理教室、プログラミング教室、ペットボトルロケットとやさしい物理教室、カップス教室、車いす体験講座等とどの講座もやってみたくなる楽しい講座を開いていただきました。

各講座では、地域の方、二小到縁のある方が先生になって教えていただきました。分かりやすく、優しく丁寧に教えていただき、第1級の先生はさすがだなあと見ているだけでも感心させられました。どの講座でも子供たちは夢中になって取り組んでいたりと、真剣な眼差しで取り組んでいたりました。こんな素敵な機会に恵まれていて、二小の子供たちは恵まれていると感じるとともに、二小の素晴らしい伝統だと思いました。

この「二松クラブ」で素敵だと思ったことがもう1つあります。多くの講座が全学年対象、あるいは3～6年と異学年の子供たちが一緒に活動します。そうすると、上学年の子供たちは、下学年の子供たちのよき手本になって活動していました。講師の先生の支援だけでなく、上級生が声を掛けたり、話し合いをリードしたり、手本を示したり、手伝ったりして活動していました。こういったことは一朝一夕にはなりません。毎年実施している中で、お世話をしてもらった下級生が上級生になって今度はお世話をする立場に成長していったと思います。こういったことは、長年実施している中で培われた大切な学校の宝物だと思いました。

そして、7月29日の土曜の夜には西の会の盆踊り大会が開かれ、8月5日の土曜日の夜には、三和会の盆踊りwithフェスタが開かれました。7月に使えるようになった新しい校庭で楽しいお祭りが開かれました。両日ともに天候に恵まれて、少し涼しくなった夕方に、地域の方と共に大勢の子供たちも参加していました。いつもとは少し様子の違う校庭で夏休みの楽しいひとときを過ごしていました。両日ともに前日から炎天下の中で大勢の地域の方が準備をしていただけていました。

夏休みの中でも、地域の皆様に支えられている二小の姿を実感することができました。そのことに改めて感謝申し上げます。



持ち帰りタブレットPCの使用制限時間の設定について

夏休み期間のタブレットPCの持ち帰りにつきましては、各ご家庭でご協力いただき、家庭学習での活用を図っていただきました。その際に、使用制限時間を設定しましたが、2学期以降も安全・健全に活用していただくため、下記のような使用制限時間を設定いたします。夏休み同様に使用制限時間になると@kuni.edでは当該端末では使用できなくなるためご注意ください。

■ 使用制限時間 午後11時～午前5時